

## その他配布資料

令和元年 12月 17日  
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会  
富山県部会



国土交通省では、i-Construction4年目となる令和元年度を「貫徹の年」と位置づけ、「生産性革命」を加速させるため一層の普及推進を図っているところです。

北陸地方整備局においても、3本柱である「ICTの全面的な活用」、「全体最適の導入（コンクリート工の規格の標準化）」、「施工時期の平準化」を推進し、建設現場におけるプロセス全体の最適化を図り、魅力ある建設現場の実現を目指していきます。

**最新ニュース**

**【建設業の働き方改革】建設現場の統一的な現場閉所(第2弾)に取り組みます!!**

2019年ゴールデンウィーク(10連休)の統一的な現場閉所(第1弾)に引き続き、北陸地方整備局管内(新潟県、富山県、石川県)の各発注機関が連携し、**秋の連休を活用した統一的な現場閉所(第2弾)**に取り組みます。

- 【対象工事】 工期に2019年9月から11月の土日を含めた「3連休」のうちいずれかが含まれる全工事  
 【取り組み内容】 ・2019年の9月～11月は、土日を含めた「3連休」が4回。  
 ・この4回の3連休の土日・祝日のうち、少なくとも2日連続を「現場閉所」と設定し、工事現場の閉所を各発注機関から受注者へ提案。(2日～最大12日)

**本号の掲載内容**

全 般	・令和元年度 北陸地方整備局におけるi-Constructionの取り組み方針
ICTの全面的な活用	・チャレンジ砂防プロジェクト「ICT砂防体験講習会」を開催 ・ICTの全面的活用にかかる技術基準類について
全体最適の導入	なし
施工時期の平準化	・【統合版】北陸地域における工事発注見通し

**チャレンジ砂防プロジェクト「ICT砂防体験講習会」を開催**

チャレンジ砂防プロジェクトは、現場条件などの理由からICT施工の普及が進んでいない砂防現場において、ICT技術の導入を加速させるための取り組みです。

この度、**チャレンジ砂防プロジェクト「ICT砂防体験講習会」**を立山砂防(立山砂防事務所)と白山砂防(金沢河川国道事務所)で開催しました。

8月6日の立山砂防には38名、8月22日の白山砂防には20名の工事関係者が参加し、UAVによる測量や、MCバックホウによる施工状況など、砂防現場におけるICT施工を見学しました。

「砂防ICT体験講習会」は、北陸地方整備局の砂防現場で引き続き開催する予定です。



8/6 立山砂防(立山砂防事務所)  
H31多枝原谷下流砂防堰堤工事 受注者:(株)干場建設

8/22 白山砂防  
(金沢河川国道事務所)  
H30赤岩砂防堰堤改築工事  
受注者:(株)風組

# 令和元年度 北陸地方整備局におけるi-Constructionの取り組み方針

令和元年度の北陸地方整備局におけるi-Constructionの取り組み方針を5月15日(水)の「令和元年度第1回北陸地方整備局 i-Construction推進本部会議」で決定しました。  
主な取り組み方針は以下のとおりです。

## I. ICTの全面的な活用

### (1) ICT活用工事

#### ▶ ICT土工工事の要件の緩和

砂防工事など施工現場の環境条件により、ICT建機による施工が困難な場合は、従来建機による施工を実施してもICT活用工事として認定。

#### ▶ ICT土工関連工種の新設

ICT地盤改良工、ICT付帯構造物設置工、ICT法面工、ICT作業土工(床堀)を新設。

#### ▶ ICT舗装工事の発注方式の拡大

発注方式における発注者指定型、施工者希望 I 型をこれまでの舗装面積(路盤工を含む)「10,000㎡以上」から「5,000㎡以上」として対象を拡大。

#### ▶ チャレンジ砂防プロジェクト(ICT砂防・ほくりく)の試行

ICT建機による施工が困難な砂防現場において、起工測量や出来形管理にUAVやレーザスキャナ等のICT技術を最大限活用する取り組みを試行。

### (2) ICT活用に関する講習会・研修の実施

▶ 参加者のレベルやニーズにあわせた 各種講習会、見学会等を企画、開催。

▶ ICT活用が進まない地域における講習会等の開催や、ICT導入の投資判断を行う経営者クラスを対象とした講習会、北陸のICTを牽引してきた技術者を対象とした意見交換会を新たに開催。

### (3) BIM/CIMの活用・普及に向けた取り組み

▶ BIM/CIM活用業務を詳細設計に加え、概略設計、予備設計にも拡大。(対象工種:橋梁、トンネル、河川構造物、道路設計)

▶ 官庁営繕事業の空調設備改修工事において施工BIMを試行。

## II. 全体最適の導入(コンクリート工の規格の標準化等)

▶ プレキャスト製品・現場打ち施工箇所での検証

▶ 予備設計等におけるプレキャストの比較検討

▶ 活用への普及推進(施工現場の視察、勉強会の開催。)

## III. 施工時期の平準化

▶ 北陸地方整備局内で「平準化連絡会議」を開催し、平準化における課題や目標、方策を確認・共有。

▶ 債務負担行為(ゼロ国含む)や繰越制度の活用、早期発注により平準化を推進。

▶ 四半期毎の「平準化の見通し」を、地整全体、事務所、ブロック単位でとりまとめ、事務所の発注計画等の参考として活用。(情報共有・見える化)

▶ 北陸地域における国、自治体等の工事の発注見通しの統合、公開。

## ICTの全面的活用にかかる技術基準類について

i-Constructionにおける「ICTの全面的活用」にかかる技術基準類を、以下のURL(北陸地方整備局i-Constructionホームページ)で公表しています。

[http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/i\\_Construction/hokuriku\\_ict.html](http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/i_Construction/hokuriku_ict.html)

## 【統合版】北陸地域における工事発注見通し

「北陸ブロック発注者協議会」に参画している北陸ブロック全64市町村、3県、国・法人15機関の発注見通しを統合し、以下のURLで公表しています。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/burokkukouhyou/hacchu/hacchu.html>

i-Construction推進本部 事務局

(問い合わせ先) 北陸地方整備局 企画部 技術管理課長 (3311)

企画部 施工企画課長 (3451)

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲合同庁舎1号館 Tel.025-280-8880(代)



- ◆10月2日（水）3日（木）に、「けんせつフェア北陸in富山2019」を開催しました。  
来場者約4,600人を迎え、多くの建設技術者に情報交換の場を提供。
- ◆官公庁、大学、企業団体、個人企業による151社、355技術を展示  
大学4校、企業団体74社、個人企業59社（北海道、兵庫からも出展）
- ◆“グルッと体験「ICT」” ICT特設展示  
「▶3次元測量、▶3次元データ作成、▶ICT建機施工、▶3次元出来形管理」を屋外会場でぐるっと体験。
- ◆学生招待、合同企業セミナー  
富山県、石川県内の大学、高校生、専門学校から13校約740人を招待。  
うち今後の担い手となる学生に対して富山県内企業の情報発信等セミナーに約340人参加。
- ◆展示技術プレゼンテーション47社



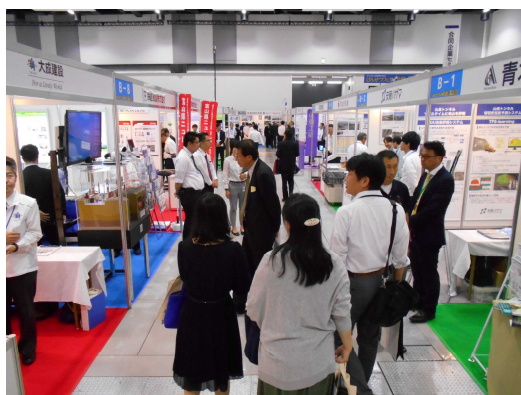
屋内展示会場



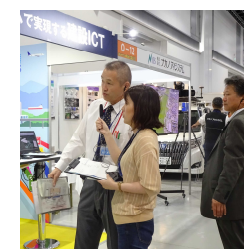
屋外展示会場



企業セミナー



- 10/1(夕方)、10/2(朝) NHK富山
- 10/2 18:24 チューリップテレビ
- 10/3 富山新聞
- 10/3 建設通信新聞
- 10/3 日刊建設新報
- 10/3 建設工業新聞
- 10/3 日刊建設工業新聞
- 10/3 13:25～20分(生中継) 富山シティエフエム→



2019/10/2

最新の建設技術 一堂に  
 局 名 チューリップ  
 番組名 チューリップテレビニュース「N6」  
 日時 令和元年10月2日(水) 18:24

掲載新聞社	富山新聞	掲載年月日	令和1年10月3日(木)
掲載面	22面	掲載分類	県内統合



(ナレーション)  
 産・学・官の優れた建設技術を一堂に集めた「けんせつフェア」が富山市で初めて開催されています。



(ナレーション)  
 この「けんせつフェア」は、国土交通省北陸地方整備局などが建設分野の最新技術を共有するとともに、業界の担い手確保を目指して開いているものです。



(ナレーション)  
 会場には、県内外の企業93社が最新技術を紹介するブースなどを出展し、屋外スペースでは、ICT技術を活用した油圧ショベルを実演体験できるコーナーも設けられています。



(ナレーション)  
 「けんせつフェア」は3日まで、富山テクノホールで開かれています。

「けんせつフェア北陸in富山2019」(富山新聞社後援)は2日、富山市の富山産業展示館で2日間の日程で始まった。富山や石川、新潟の産官学の151団体が最新の建設技術や工法を紹介し、建設関係者らが情報交換した。

「安全・安心」「自然・文化」「連携・活力」の3テーマで、355点が出展された。

**けんせつフェア 富山で初開催**

151団体が355技術出展

屋外では、ICT(情報通信技術)を活用した重機のコントロール、測量などの特設展示、ドローンのデモンストラーションが繰り広げられた。学生向けの企業セミナーなどもあった。

フェアは1993(平成5)年から隔年で開かれており、富山での開催は初めて。開会式ではフェア実行委員長の内藤正彦北陸地方整備局企画部長が開会宣言し、北陸地方建設事業推進協議会長の吉岡幹夫同局長があいさつした。



屋外展示に見入る来場者  
 富山市の富山産業展示館



新聞社名	建設通信新聞	年月日	令和 元年10月 3日(木)
掲載面	7面		

新聞社名	日刊建設新報	年月日	令和 元年10月 3日(木)
掲載面	4面		

産・官・学の優れた建設技術なる今回は、151者が355技術を一堂に集めて紹介する5技術を出展。「次世代へ、

## 151者が355技術出展

けんせつフェア北陸in富山が開幕



「けんせつフェア北陸in富山2019」みて、ふれて、設技術」をキャッチフレーズに、i-constructionなどの最新技術を紹介した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

千代田機械「けんせつフェア」にブース出展  
先進のICT建機など展示・実演  
千代田機械(金沢市)は、ICT建機に関する展示・実演を行う。展示機は、ICT建機の最新機種「IC10」など。ICT建機は、ICT建機の最新機種「IC10」など。ICT建機は、ICT建機の最新機種「IC10」など。



関係者によるテープカット

## けんせつフェア北陸、富山で初開催

151者が出展、355技術を紹介



会場での様子



屋外ICT展示場

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。



ICT特設展示場

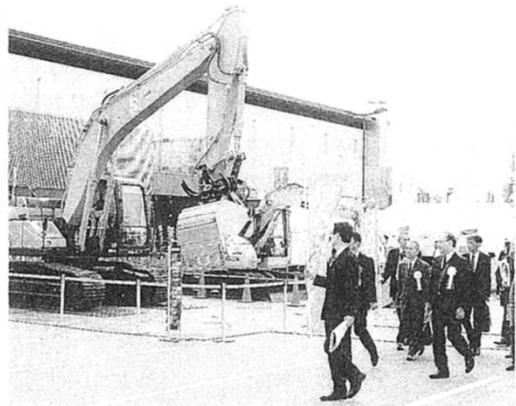
けんせつフェア北陸in富山が開幕した。富山県で初開催と開幕した。富山県で初開催と開幕した。

新聞社名	建設工業新聞	年月日	令和 元年10月 3日(木)
掲載面	4面		

新聞社名	日刊建設工業新聞
掲載面	10面



関係者によるテープカットと屋外に設けられたICT特設展示場



会場内では、新たに研究開発された新技術などを紹介する「建設技術報告会」も同時開催。「環境の保全と創造」「雪に強い地域づくり」「自然災害からの安全確保」などをテーマに技術報告が行われたほか、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構第一宇宙技術部門技術領域主幹の富井直弥氏による「宇宙からのインフラ調査点検」と題した基調講演もあった。

産学官の優れた建設技術を一堂に集めた「けんせつフェア北陸in富山2019」が2日、富山産業展示館(テクノホール)で始まった。大勢が

代へ、イノベーションをもたらす建設技術」で、151企業・団体355件の新技術・工法が展示された。屋外には体験型のICT特設展示場も設置。ICT建設機械の実演や体験乗車などを通して「iConstruction 貫徹の者を見込んでいる。

## 新技術・工法が一堂に けんせつフェア北陸始まる 富山で初開催

オープニングセレモニーでは、フェア実行委員長の内藤正彦北陸地方整備局企画部長が開会を宣言。続いて吉岡幹夫北陸地方整備局長が「展示にはiConstructionの技術、インフラ点検の技術、北陸特有の雪対策の技術などがあり、地域の建設技術の皆さんに役立つものと確信している。見学を通して新技術・新工法の活用につなげてほしい」とあいさつした。来賓の森戸貴国国土交通省総合政策局公共事業企画調整課長があいさつした後、関係者によるテープカットが行われた。

本建設業連合会(日建連)北陸支部などで組織する実行委員会(委員長・内藤正彦北陸整備局企画部長)主催の建設技術の総合展示会「けんせつフェア北陸in富山2019」が2日、富山市の産業展示館を会場に開幕した。富山県でのけんせつフェア開催は初めてで、会期は3日まで。

今回のキャッチフレーズ「長があいさつした。は「次世代へ、イノベーションをもたらす建設技術」は、国土交通省は2019年年度を建設現場の生産性向上策「iConstruction」の真散年位置付け

「一会場には現場の生産性向上に役立つICT(情報通信技術)や、インフラ点検省力化、北陸ならではの克重関係の技術が多数展

「この後、吉岡局長、森戸課長、芦田徹也日建連北陸支部長、海野正美日本道路建設業協会北陸支部長、竹

内茂富山県建設業協会会長らがテープカットを行い、フェアには151の団体・企業が参加。17年度の前回は約1割上回る355の新技術・新工法が展示されている。自社技術や工法をアピールするプレゼンテーションには47者が参加す

学生と生徒向けの合同企業セミナーには、富山大学、富山県立大学、富山県立桜井高校、同富山工業高校、同富山工業高校、同南砺福

野高校から約340人が参加者を含むフェア見学者は1加する予定。セミナー参加000人を超える予定。